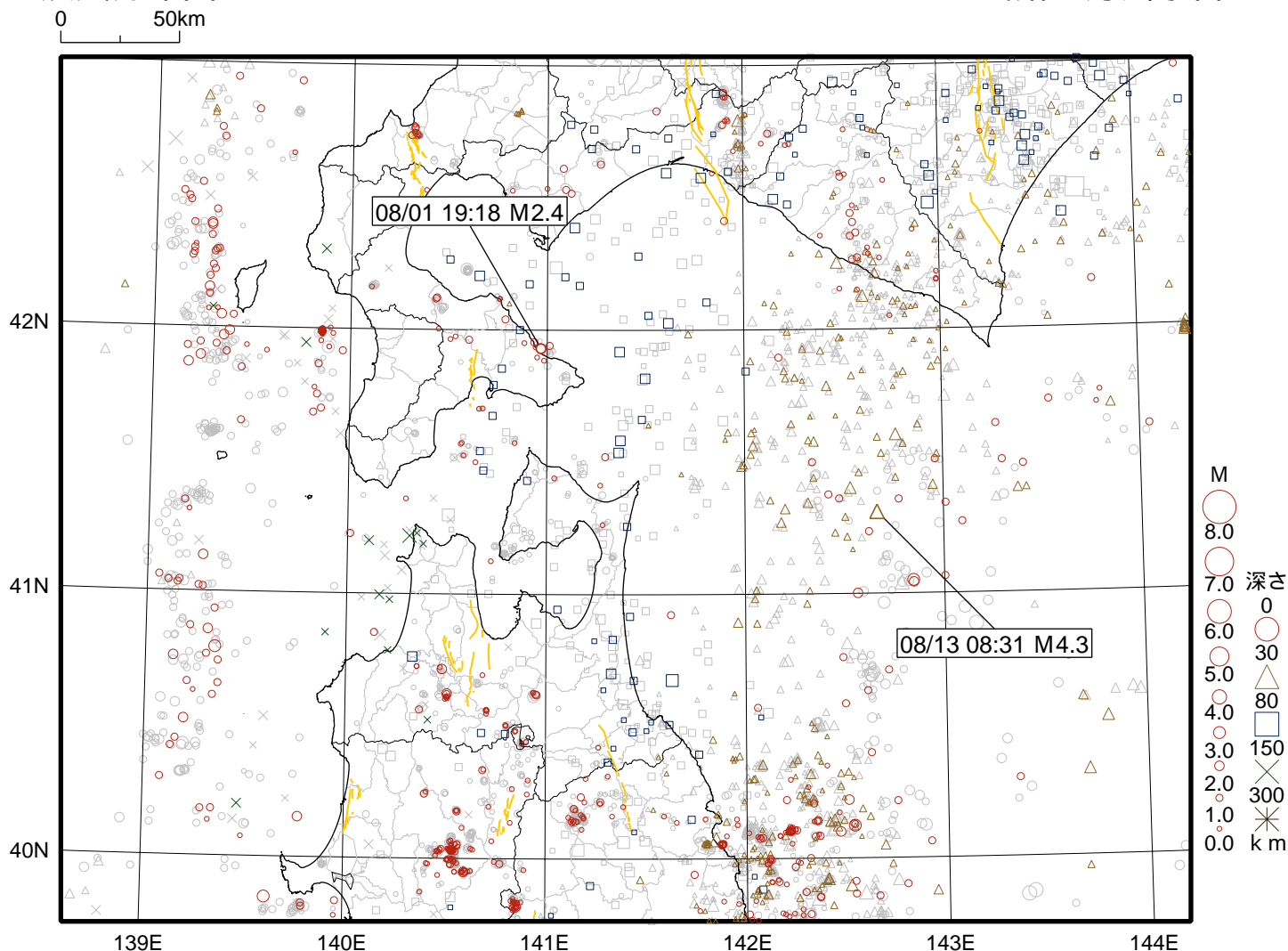


渡島・檜山地方の地震活動図

2020年8月1日～2020年8月31日

震央分布図

函館地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
記号Mはマグニチュードを、図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化がみられることがあります。

地震概況（2020年8月）

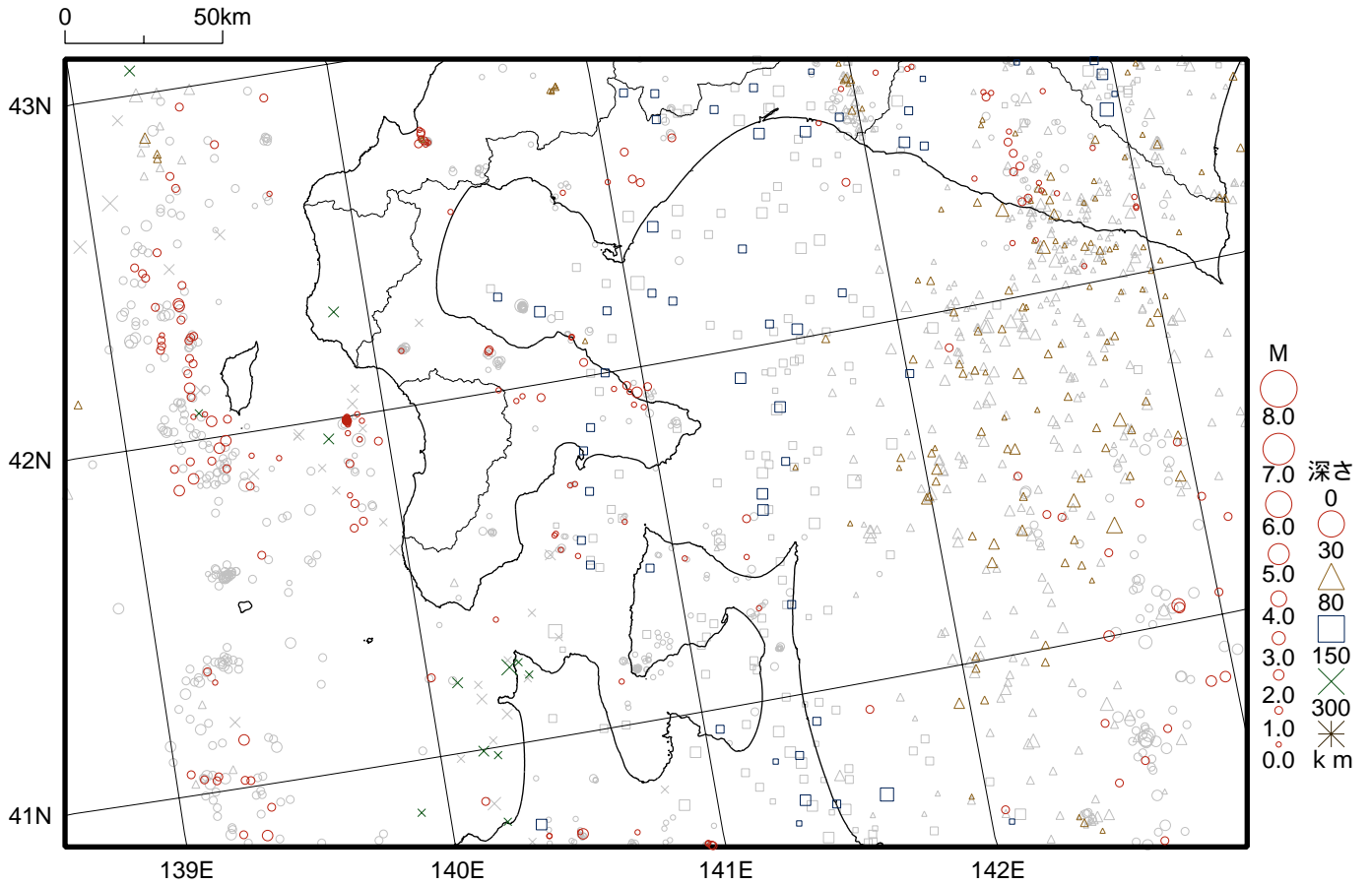
この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回（7月は3回）でした（詳細は「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

1日19時18分、内浦湾の地震（M2.4、深さ8km）により、函館市川汲町で震度2を観測しました。

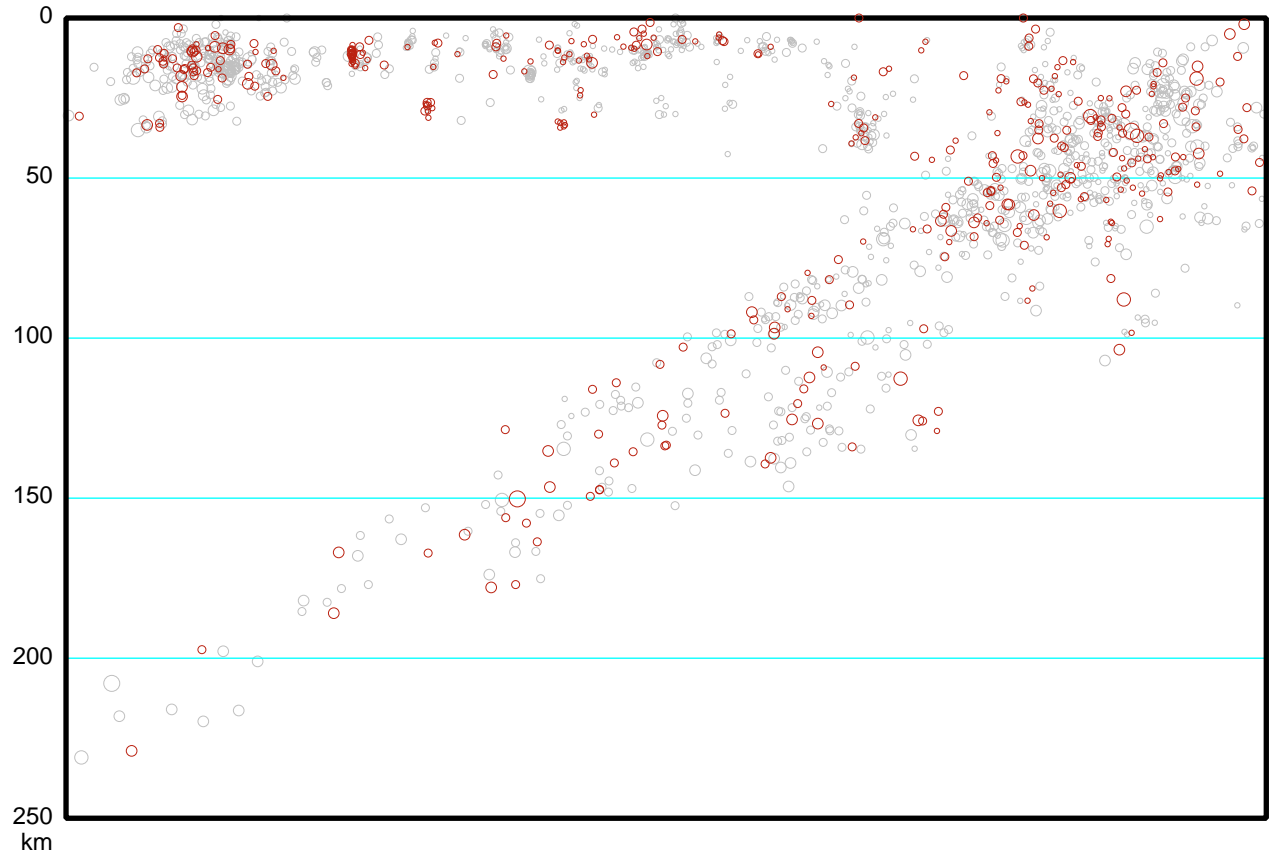
この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/>」です。

2020年8月1日 ~ 2020年8月31日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。

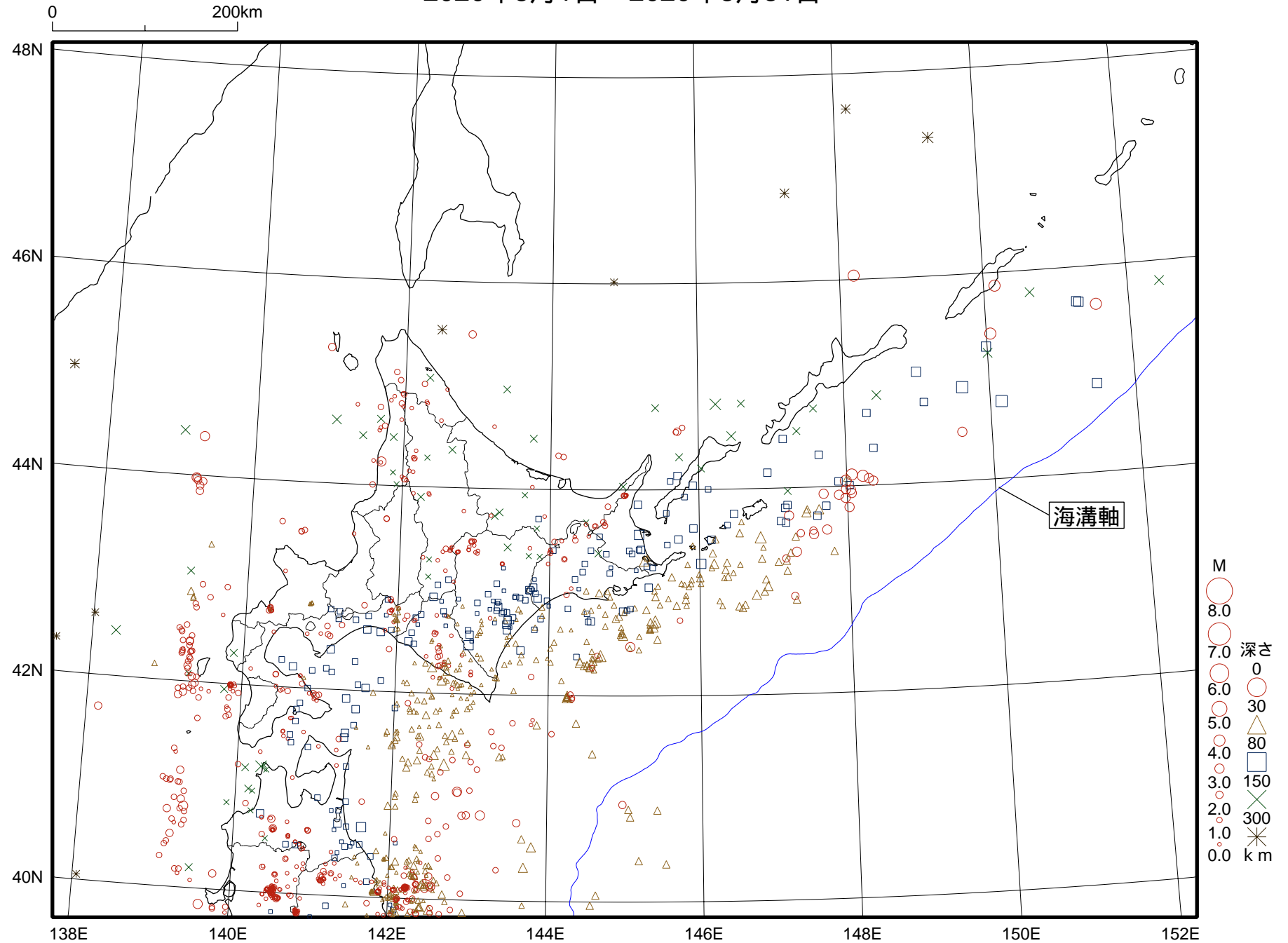
2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化がみられることがあります。

北海道の地震活動図

2020年8月1日 ~ 2020年8月31日

札幌管区気象台

震央分布図



2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化がみられることがあります。

震度 1 以上を観測した地震の表 (2020年8月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
2020年 8月 1日 渡島地方	19時18分 震度 2	内浦湾 函館市川汲町 * (21)	41 ° 55.8 N	140 ° 58.0 E	8 k m	M2.4
2020年 8月13日 渡島地方	08時31分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (11)	41 ° 18.5 N	142 ° 39.9 E	35 k m	M4.3

各地の震度は、渡島・檜山地方のみを掲載しています。

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

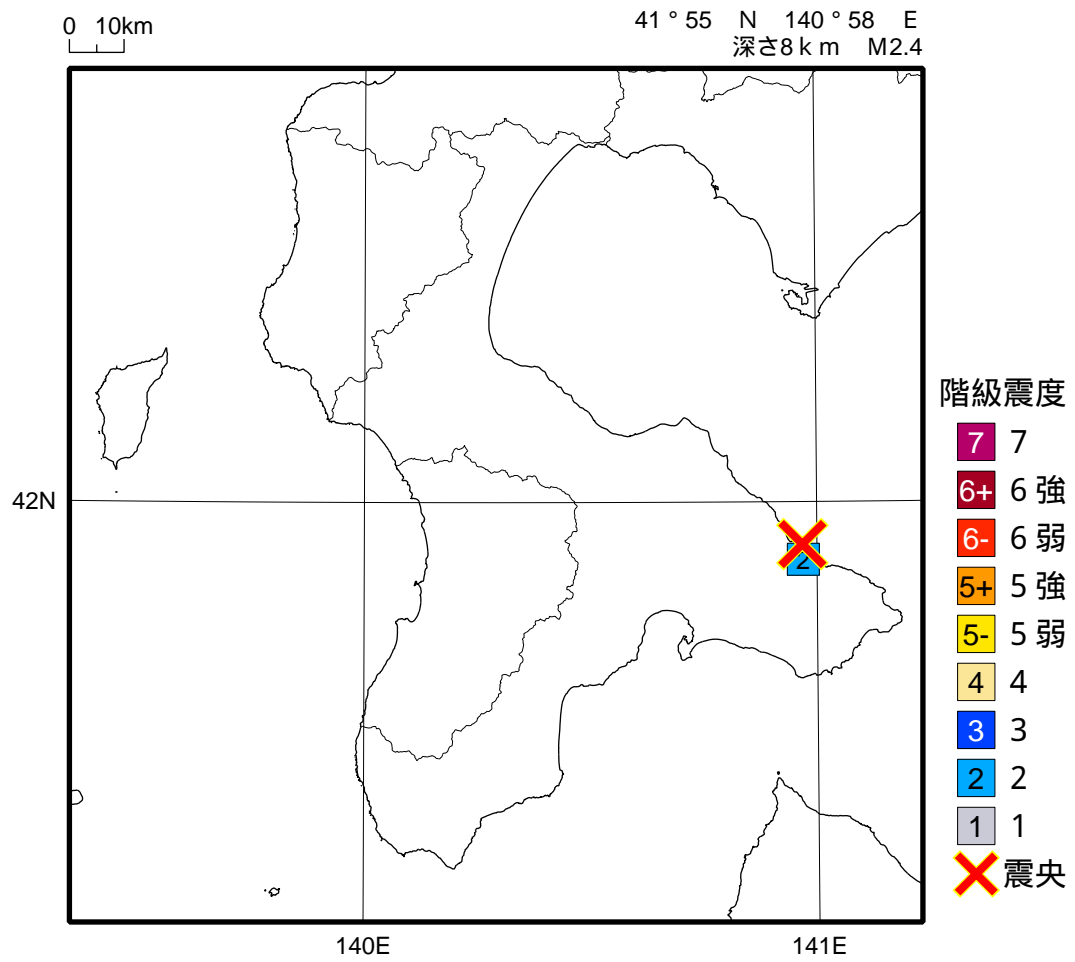
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

2020年 8月 1日19時18分 内浦湾の地震の震度分布図



【防災メモ】

～気象庁が発表する地震情報について～

気象庁では24時間体制で地震・津波を監視しており、地震が発生した場合は、その観測結果を地震情報としてお知らせします。また、津波が予想されないときは、津波の心配がない旨を地震情報に含めて発表しています。地震情報の種類と発表するタイミングについては以下のとおりです。

地震発生！

数秒～
十数秒

「緊急地震速報」

震度5弱以上の揺れが予想された場合、地震の発生時刻、地震の発生場所(震源)、地震の規模(マグニチュード)、震度4以上が予想される地域名^{*1}を発表。

1分半～

「震度速報」

震度3以上を観測した場合、観測した地域名^{*1}と地震の揺れの検知時刻を速報。

約3分

「震源に関する情報」

震度3以上を観測した地震で、津波による災害のおそれがないと予想される場合に「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加し、震源やマグニチュードを発表。

「震源・震度に関する情報」

震源やマグニチュード、震度3以上の地域名^{*1}と市町村毎の観測した震度を発表。
震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。

約5分

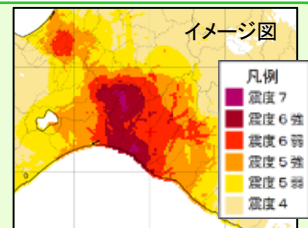
「各地の震度に関する情報」

震度1以上を観測した地点のほか、震源やマグニチュードを発表。
震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。

約15分

「推計震度分布図」

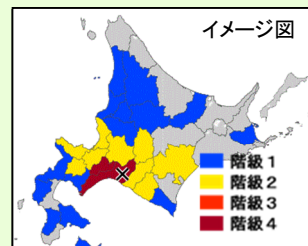
震度5弱以上を観測した場合、観測した各地の震度データをもとに、1km四方ごとに推計した震度(震度4以上)を図情報として発表(気象庁ホームページで公開)。



約20分

「長周期地震動に関する観測情報」

地域ごとに観測された長周期地震動階級(高層ビルなどでの長周期地震動による揺れの大きさの指標)を気象庁ホームページで公開。



「その他の情報」^{*2}

^{*1} 緊急地震速報や震度情報で用いる区域の名称は
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/shindo-name.html>
^{*2} 情報の詳しい内容は
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/seisinfo.html>